

# 鹿島神宮で「鹿島立ち」

鹿行地域で暮らす私達の初詣と言えば鹿島神宮。新年から人々の安寧や繁栄を願い、邪気を祓う様々な神事が厳かに執り行われている鹿島神宮では、人生の節目や一年の決意を祈願する「鹿島立ち」の文化が脈々と受け継がれています。2022年も心豊かでより良い一年を過ごせるように、鹿島神宮から気持ちよく新たなスタートをしましょう。



も行われています。

宮ですが、新年早々の1月は、実は様々な神事が執り行われていることはご存知でしょうか？まず1日の日の出前に執り行われるのは「歳旦祭」。これは宮中や全国の神社で年始を祝う行事で、天皇陛下をはじめとする皇室、国民の繁栄と農作物の豊作を皇祖・天神地祇に祈願するお祭り。人々が食べるものに困らず、益々栄え、一年を健康で幸せに過ごせますように……。そんな慈悲深い祈りが込められています。

**一年の邪気を祓う恒例の「白馬祭」「大寒褌」で心身を清めて無病息災**  
1月3日に執り行われる「元始祭」は、連綿と継承される皇位の元始を祝い、皇祖以下祖霊や諸神をまつる祭儀。もとは宮中三殿（賢所・皇霊殿・神殿）で天皇自ら主宰する「親祭」でしたが、全国の神社で

「白馬祭」は、鹿島神宮で鎌倉時代初期から続く特殊神事。かつて新年最初に本殿の御扉を開けるのに合わせて、馬を曳き廻した祭りが今に伝わっています。「新春に白馬を見れば一年間の邪気を祓う」と言い伝えられ、神職の賑やかな笏拍子や神楽太鼓の音、共に進む御神馬の足取りを大勢の参拝客が見守ります。また、御神馬が踏んだものを持つていると心願が叶うとも言われるようになり、参拝者が持参したハンカチが地面にずらりと敷かれた光景も風物詩です。

大寒の日である1月20日はご存知、寒中行事の「大寒褌」が実施されます。真冬の中、男性はふんどし、女性は白衣姿で、古来より神職潔斎の池である御手洗池で心身を清め、無病息災を願い、一年の決意を新たに

します。昨年はコロナの影響で一般参加は中止でしたが、今年は感染対策を徹底しながら実施決定。「鹿島立ち」を希望する人々が、それぞれの祈りを込めて荒行に挑みます。

**伝統を守る「令和の大改修」実施中「幸先詣」の分散参拜で「鹿島立ち」を**

鹿島神宮では、今年から2026年に斎行される十二年に一度の大祭「鹿島神宮式年大祭 御船祭」に先立ち、国指定文化財である幣殿・拝殿・奥宮・楼門の修繕工事「令和の大改修」を実施中。現在は奥宮の工事が進められ、トータル約6年に及ぶ保存修理によって、今後も変わらぬ姿で伝統的な信仰の在り方、文化が将来に正しく伝えられていきます。

2022年のお正月もコロナ禍での参拝



■歳旦祭：皇室や国民の繁栄と農作物の豊作を元旦に祈願



■元始祭：皇室の弥栄と国民の安泰を祈るお祭り



■白馬祭：白馬が境内を駆け、参拝客が今年の幸せを願います



■御朱印：本宮と奥宮、今年から香島天之大神社の御朱印も

**出仕 小松千真さん**  
鹿島神宮に出仕として奉職。神社の規模にもよりますが、神職の職階はおおよそ宮司、権宮司、禰宜、権禰宜、出仕の5つ。出仕は入社間もない見習いの神職。

**本年の参拝方法、コロナ対策など**  
境内のマスク着用は必須。体温が37.5℃以上や体調不良の方は参入不可です。授与所では三密対策として年末よりテーマパーク方式を採用し、人数制限を実施。祈禱殿ではサマールカメラ、換気器具を設置し、全体の座席数を120席に半減。1企業または団体、グループ、最大6名までに制限します。

**三社のみが称する別格の神宮 慈悲深い祈りを込めた「歳旦祭」**

全国約600社ある鹿島神社の総本社で、神武天皇元年（紀元前660年）の創建と伝えられている鹿島神宮。近代まで格式高い神社の称号である「神宮」と呼ばれていたのは、鹿島神宮、伊勢神宮、香取神宮の三社のみで、全国で約8万社ある神社の中でも別格の存在。御祭神は武の神・武甕槌大神で、古くから皇室をはじめ、源頼朝や徳川家康など数多くの武将たちの崇敬を受け、「屈指の強豪クラブで」「常勝軍団」の異名を持つ鹿島アントラースが必勝祈願に訪れることで知られています。近年は県内屈指のパワースポットとしても注目を集め、昨今の御朱印ブームも追い風となり、平日でも大勢の参拝客で賑わう鹿行地域随一の名所となっています。

例年、三が日に約70万人が訪れる鹿島神宮となるため、鹿島神宮では引き続き感染防止対策を徹底。12月1日から破魔矢などの正月の授与品を用意し、一足早く初詣のようにお参りができる「幸先詣」での分散参拝の協力を呼び掛けています。「本年もお正月三が日は大変な混雑が予想されます。当宮と致しましては、皆様へ安心してお参り頂けるよう拝領致しますが、参拝される各方は混雑する時間帯を避けてお参り頂ますようお願い致します」と小松さん。

奈良時代に防人が武運長久を祈って旅立ったことから、旅の道中の無事を祈願する「鹿島立ち」の文化が育まれた鹿島神宮。今では受験、就職、起業、結婚、出産など人生のターニングポイントや、一年の新たな決意を祈願する拠り所となっています。鹿島神宮で「鹿島立ち」をして、健やかで実りある一年を迎えましょう。

**鹿島神宮**  
鹿嶋市宮中2306-1  
TEL:0299-82-1209(鹿島神宮社務所)

授与所	12月31日	8:30 ~ 16:30
	1月1日	0:00 ~ 19:00
	1月2、3日	8:00 ~ 19:00
	1月7日	8:30 ~ 19:00
	1月4~6日、8~11日	8:30 ~ 17:00
祈禱殿	12月31日	8:30 ~ 16:30、23:00 ~ 17:00
	1月1日	0:00 ~ 19:00
	1月2、3日	8:00 ~ 16:30
	1月4日以降	8:30 ~ 16:30